

証券コード 5855

 アサヒプリテック 株式会社

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 株主総会の基準日 毎年3月31日
※その他必要がある時は、あらかじめ公告のうえ、基準日を設定いたします。
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号（〒530-0004）
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）
- 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
【株式に関するお手続きのご請求について】
株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続きのみとなりますので、ご注意ください。
電話（通話料無料） 0120-244-479（証券代行部）
0120-684-479（大阪証券代行部）
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 単 元 株 式 数 100株
- 公 告 方 法 公告方法は電子公告といたします。
<http://www.asahipretec.com/ir/>

（ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



 アサヒプリテック 株式会社

神戸本社

〒650-0001 神戸市中央区加納町4-4-17 ニッセイ三宮ビル

TEL.(078)333-5600(代) FAX.(078)333-5681

東京本社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー

TEL.(03)6270-1820(代) FAX.(03)6270-1825

ホームページ

<http://www.asahipretec.com/>



地球環境に配慮した大豆インキを使用しています

株 主 の 皆 様 へ

第46期 中間報告書

2008年4月1日～2008年9月30日



アサヒプリテックグループの事業内容

1952年の創業以来、アサヒプリテックは貴金属リサイクルを業としてまいりました。また、1971年の「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」施行以降、社会の環境負荷を低減するための廃棄物の処理事業を行っております。

半世紀にわたり、他社に先駆けて「次世代の預かりものである」地球環境の保全活動を行ってきたことを、我々は誇りに思っております。今後さらに一層の知恵と行動により、地球環境改善に貢献できるニーズを探し、対応する技術・製品・サービスの開発に努め、「エコビジネスのエクセレントカンパニー」を目指してまいります。

アサヒプリテックグループの事業は以下の2つのセグメントで構成されております。

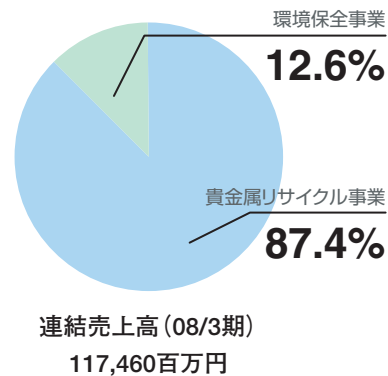
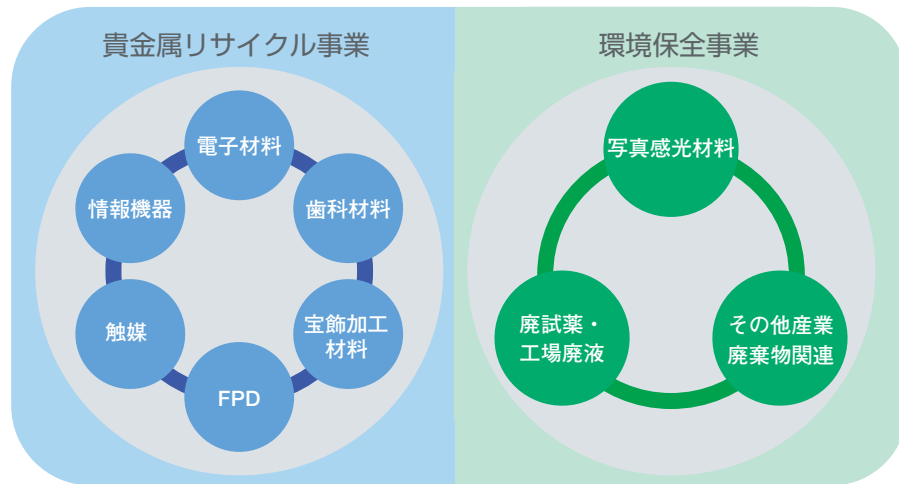
貴金属リサイクル事業

電子材料・歯科材料・宝飾加工材料・FPD・自動車触媒などの貴金属・希少金属含有スクラップを回収し、金・銀・パラジウム・プラチナ・インジウムなどをリサイクルしております。

※ FPD…フラットパネルディスプレイ。液晶ディスプレイやプラズマディスプレイなど薄型ディスプレイの総称。

環境保全事業

特別管理産業廃棄物を含む各種産業廃棄物を回収し、適正処理（無害化処理）しております。



株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第46期中間期（2008年4月から9月）におけるわが国経済は、昨年来の米国サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱が実体経済の停滞に繋がり、景気後退局面が鮮明になってまいりました。

このような厳しい経済状況の下、当社グループは個々の事業領域の採算性向上とマーケット毎の的確な対応によりシェア拡大に努めてまいりました。

当社グループの貴金属リサイクル事業におきましては、金属回収量が前年同期を上回り、環境保全事業におきましても総じて堅調に推移いたしました。

しかしながら、第2四半期末日にかけて金属相場が急落したことにより、たな卸資産の簿価を時価まで引き下げる会計基準（いわゆる低価法）の適用により評価損失3,360百万円が生じることとなりました。

これらの結果、当中間期の経営成績につきましては、連結売上高は79,389百万円（前年同期比46%増）の増収となりましたが、連結経常利益は2,357百万円（前年同期比53%減）の減益となりました。また、中間配当金につきましては、上記の経営状況と利益還元に関する基本方針に基づき、1株当たり25円とさせていただきます。

今後の経済環境ならびに金属相場の動向につきましては、更に厳しい状況が続くものと考えておりますが、徹底したコスト削減策に取り組むとともに、個々の事業領域の採算性を一層強化し、収益力ある企業体質の維持・回復に向けて全社一丸となって取り組む所存です。

なお、当社は2009年4月1日に『アサヒホールディングス』を設立し、持株会社制へと移行いたします。また、来年4月より新たにスタートする3ヵ年計画「第5次中期経営計画」の策定を進めており、更なる事業発展を目指すことで、みなさまの期待に応えてまいりたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

津野満春

中間決算の概要

経営成績

<貴金属リサイクル事業>

金属回収量は既存顧客の維持及び新規顧客開拓により、前年同期を上回りました。特に宝飾流通・製造分野では、流通市場での回収強化により、金属回収量は前年同期を大幅に上回る結果となりました。なお、金属平均販売単価に関しては、金・銀・プラチナは前年同期の平均販売単価を上回りましたが、パラジウム・インジウムは前年同期の平均販売単価を下回りました。

<環境保全事業>

写真感光材料分野では、デジタルカメラの普及の影響を受け、写真感材廃液の処理量は前年同期を下回りましたが、廃試薬、廃液、汚泥、廃油の取扱量は前年同期を上回りました。また、各連結子会社の業績は堅調に推移し、環境保全事業の規模拡大に寄与いたしました。

以上の結果、連結売上高は79,389百万円、セグメント別では、貴金属リサイクル事業が72,135百万円、環境保全事業が7,253百万円となりました。

	当中間期 08/9	前中間期 07/9	前期 08/3
売上高	79,389	54,392	117,460
(貴金属リサイクル事業)	72,135	47,913	102,691
(環境保全事業)	7,253	6,479	14,769
営業利益	2,385	4,998	10,825
経常利益	2,357	5,040	10,858
当期(四半期)純利益	1,439	2,960	6,450

一方利益面では、金属の相場が第2四半期末日にかけて、急激に下落し、たな卸資産の簿価を時価まで引下げる低価法評価損失3,360百万円を生じたことにより、業績予想を大きく下回り、連結営業利益は2,385百万円、連結経常利益は2,357百万円、連結四半期純利益は1,439百万円となりました。

この結果、前年同期と比較して、売上高は24,996百万円の増収、営業利益は2,612百万円、四半期純利益は1,520百万円の減益となりました。

財政状態

総資産は55,747百万円となり、前期末と比べ128百万円の増加となりました。その主な要因は、売上債権の増加額2,173百万円とたな卸資産の減少額2,132百万円によるものであります。なお、純資産は32,530百万円となり、自己資本比率は58.3%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,343百万円に減価償却費1,186百万円を加え、売上債権の増加及びたな卸資産の減少等を加減した結果、1,715百万円の増加となりました。

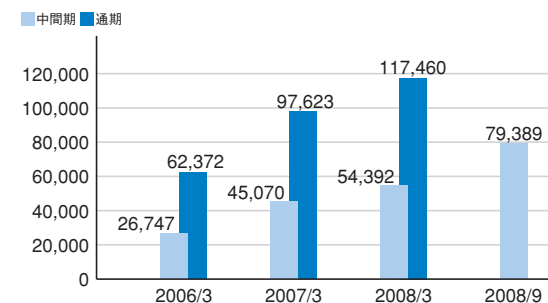
投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出1,287百万円等により、1,273百万円の減少となりました。主な設備投資は、テクノセンター等の設備投資であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短期借入金の純増加額1,292百万円等により、454百万円の増加となりました。

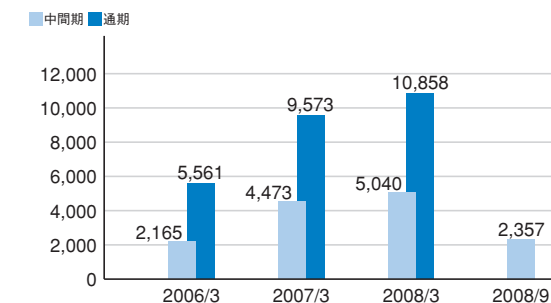
以上の結果、現金及び現金同等物の当中間期末残高は2,943百万円となりました。

連結財務ハイライト

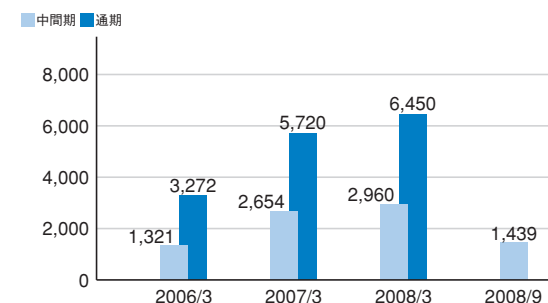
売上高 (単位:百万円)



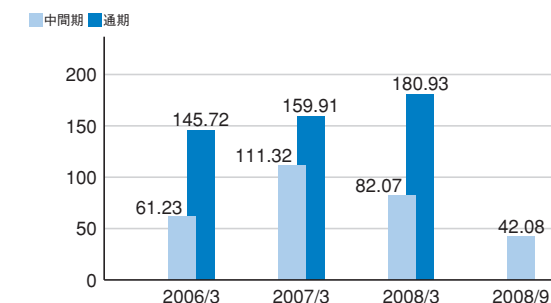
経常利益 (単位:百万円)



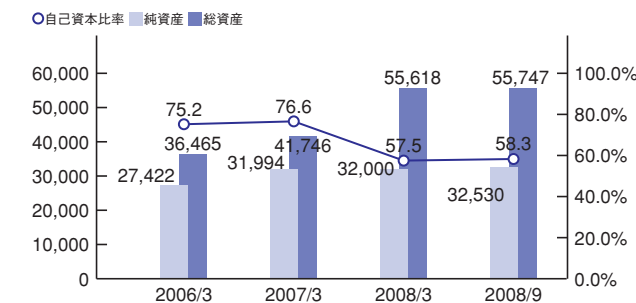
当期(四半期)純利益 (単位:百万円)



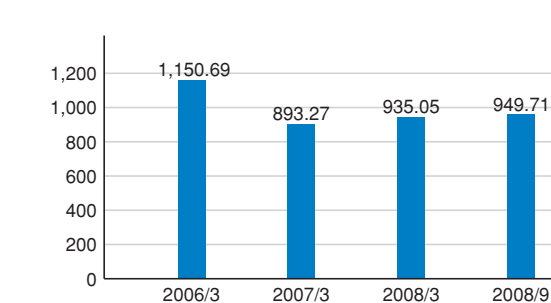
1株当たり当期(四半期)純利益 (単位:円)



総資産/純資産/自己資本比率 (単位:百万円、%)



1株当たり純資産 (単位:円)



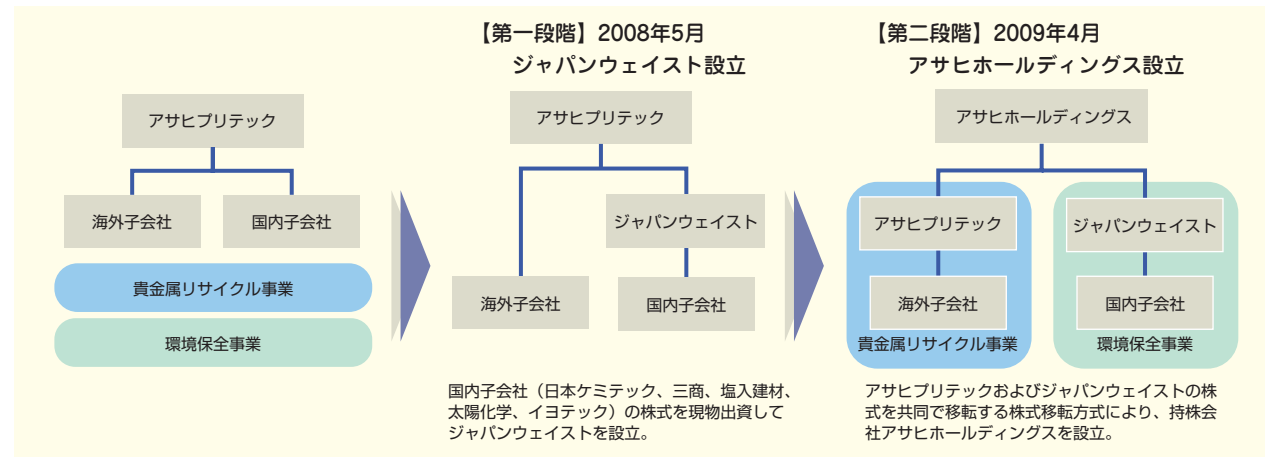
※当社は2006年10月1日付で株式1株につき1.5株の株式分割を行っております。

Topics

ジャパンウェイスト株式会社の設立 ～ 持株会社制移行 第一段階 ～

当社は、2008年5月1日付でジャパンウェイスト株式会社を設立いたしました。ジャパンウェイストは「産業廃棄物処理その他の環境保全事業」に従事する子会社として、今後、当社より環境保全事業を順次移転してまいります。

ジャパンウェイストの設立は、来年4月1日の持株会社制移行（アサヒホールディングス設立）に向けた第一段階となります。



金 LBMA ブランド登録

当社の金がLBMA (London Bullion Market Association: ロンドン地金市場協会) の審査に合格し、ブランド登録されました。

LBMAは、ロンドン市場で流通する金・銀の品質規格を定めるとともに、厳格な審査に合格した業者の地金を「グッド・デリバリー・バー」として認定しており、その地金は世界の市場で流通することが可能となります。

当社の銀は既にLBMAにブランド登録されており、この度、金もブランド登録されました。また、プラチナ・パラジウムはLPPM (London Platinum and Palladium Market) にブランド登録されており、その品質の高さは世界の市場で高い評価をいただいております。



富士炉材株式会社の株式取得



当社の子会社であるジャパンウェイスト株式会社は、2008年10月1日付で富士炉材株式会社の株式を取得し、100%子会社といたしました。

富士炉材はガラス製造用の熔炉改修・解体・煉瓦屑処理事業を手がけており、自治体が運営するごみ焼却炉における特別管理産業廃棄物処理にも事業を展開しております。創業は1951年と業歴が長く、耐火物に特化した産業廃棄物処理業者としては、国内でも数少ない企業です。

富士炉材のグループ会社化により顧客資産を共有し、産業廃棄物処理サービスの充実に加え、貴金属リサイクルビジネスの拡充が可能であると考えており、グループ全体の総合力発揮を通じて更なる業績拡大に努めてまいります。

「アサヒプリテックゴールデンファイターズ」X-LEAGUE昇格

当社が全面的に支援するアメリカンフットボールチーム「アサヒプリテックゴールデンファイターズ」が国内リーグの最高峰「X-LEAGUE」に昇格いたしました。

アサヒプリテックゴールデンファイターズは1992年に当社のアメリカンフットボールチームとして創部、1995年に協会に加盟して以来、NFA WESTリーグに参戦してまいりました。2005年までは2部・3部を行き来しておりましたが、2006年に3部優勝、入替戦勝利（2部昇格）、更に翌2007年に2部優勝、入替戦勝利し、わずか2年で3部から1部へ上りつめ、本年よりX-LEAGUEに参戦しております。



連結財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期末 (2008年9月30日)	前期末 (2008年3月31日)	科目	期別	当中間期末 (2008年9月30日)	前期末 (2008年3月31日)
資産の部				負債の部			
流動資産		31,107	30,928	流動負債		22,940	23,388
現金及び預金		2,943	2,054	支払手形及び買掛金		3,394	3,102
受取手形及び売掛金		7,031	4,858	短期借入金		16,850	15,550
製品		5,332	7,385	1年内返済予定長期借入金		14	14
原材料		10	10	未払金		861	1,009
仕掛品		13,725	13,801	未払法人税等		600	2,447
その他		2,071	2,826	賞与引当金		645	662
貸倒引当金		△7	△7	役員賞与引当金		—	40
固定資産		24,640	24,690	修繕引当金		48	96
有形固定資産		22,314	22,272	その他		525	465
建物及び構築物		7,276	7,091	固定負債		276	230
土地		9,849	9,817	長期借入金		3	10
その他		5,188	5,363	退職給付引当金		144	104
無形固定資産		1,827	1,890	その他		128	115
のれん		1,550	1,621	負債合計		23,216	23,618
その他		277	269	純資産の部			
投資その他の資産		498	527	株主資本		32,549	31,950
資産合計		55,747	55,618	資本金		4,480	4,480
				資本剰余金		6,802	6,869
				利益剰余金		27,081	26,496
				自己株式		△5,815	△5,896
				評価・換算差額等		△54	16
				その他有価証券評価差額金		△0	0
				繰延ヘッジ損益		△48	—
				為替換算調整勘定		△5	15
				少数株主持分		35	33
				純資産合計		32,530	32,000
				負債純資産合計		55,747	55,618

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前中間期(参考) (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
1 売上高		79,389	54,392
売上原価		74,926	47,403
売上総利益		4,462	6,989
販売費及び一般管理費		2,077	1,991
2 営業利益		2,385	4,998
営業外収益		64	71
営業外費用		92	29
経常利益		2,357	5,040
特別利益		15	13
特別損失		29	126
税金等調整前四半期純利益		2,343	4,927
法人税、住民税及び事業税		570	1,989
法人税等調整額		332	△23
少数株主利益		1	1
四半期純利益		1,439	2,960

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 売上高の増加

貴金属リサイクル事業においては金属回収量が前年同期を上回り、環境保全事業においても総じて堅調に推移したことにより、売上高は79,389百万円(前年同期比46%増)の増収となりました。

POINT 2 営業利益の減少

金属の相場が第2四半期末日にかけて急激に下落し、たな卸資産の簿価を時価まで引下げる低価法評価損失3,360百万円が生じたことにより、営業利益は2,385百万円(前年同期比52%減)の減益となりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前中間期(参考) (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
3 営業活動によるキャッシュ・フロー		1,715	2,367
4 投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,273	△1,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		454	△1,208
現金及び現金同等物に係る換算差額		△6	19
現金及び現金同等物の増加額		889	109
現金及び現金同等物の期首残高		2,054	1,491
株式交換による現金及び現金同等物の増加額		—	182
現金及び現金同等物の四半期末残高		2,943	1,784

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

POINT 3 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益2,343百万円に減価償却費1,186百万円を加え、売上債権の増加及びたな卸資産の減少等を加減した結果、1,715百万円の増加となりました。

POINT 4 投資活動によるキャッシュ・フロー

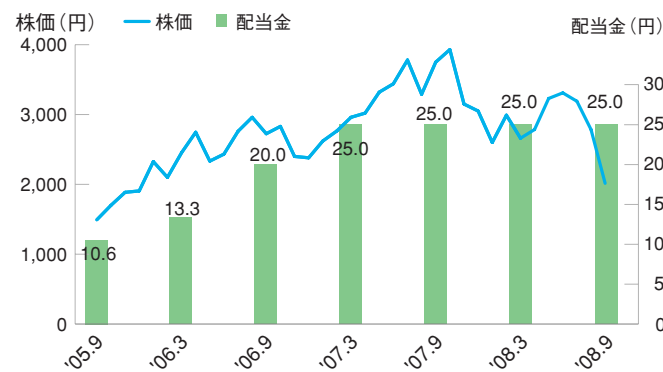
固定資産の取得による支出1,287百万円等により、1,273百万円の減少となりました。主な設備投資は、テクノセンター等の設備投資であります。

- 発行可能株式総数 129,000,000株
- 発行済株式の総数 36,254,344株
- 単元株式数 100株
- 株主数 10,141名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
寺山満春	3,702千株	10.21%
寺山正道	2,102	5.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	978	2.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	969	2.67
エスジー・エスエスナントバイオファームズ	942	2.59

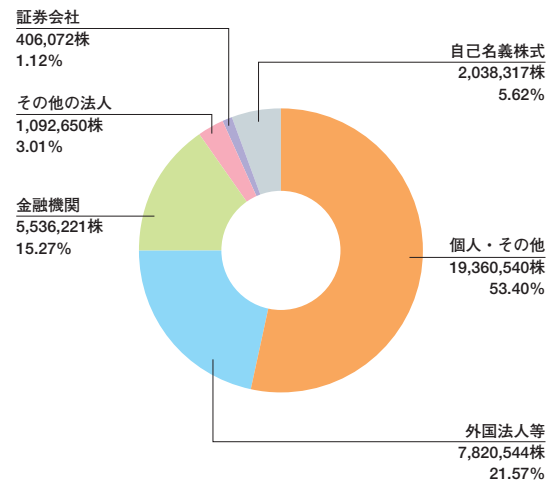
※上記のほか、自己株式2,038千株を保有しております。

株価・1株当たり配当金の推移

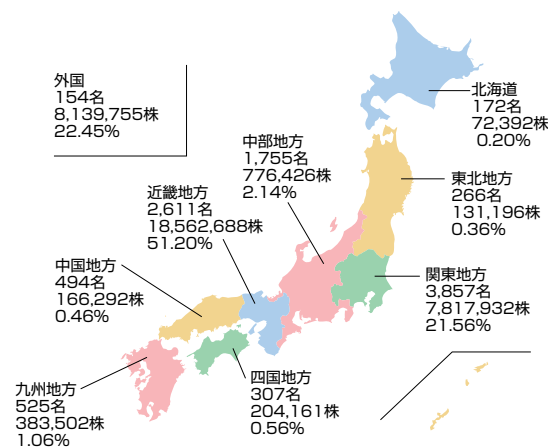


注) 当社は2006年10月1日付で株式1株につき1.5株の株式分割を行っておりますので、上記は分割調整後の株価です。

所有者別株式分布状況



地域別株式分布状況



会社概要

- 商号 アサヒプリテック株式会社
- 創業 1952(昭和27)年7月
- 資本金 44億8千万円
- 神戸本社所在地 神戸市中央区加納町4-4-17 ニッセイ三宮ビル
- 東京本社所在地 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー
- 従業員数 888名(単体)、1,119名(連結)
- 事業内容 貴金属・希少金属資源のリサイクル
環境保全(産業廃棄物の無害化处理)
- 子会社 ジャパンウェイスト株式会社
日本ケミテック株式会社
株式会社三商
株式会社塩入建材
株式会社イヨテック
株式会社太陽化学
富士炉材株式会社(2008年10月1日付)
ASAHI G&S SDN. BHD. (マレーシア)
上海朝日浦力環境科技有限公司(中国)
韓国アサヒプリテック株式会社(韓国)

事業所

- 本社事務所 神戸、東京
- 研究所 テクノセンター
- 工場 埼玉、尼崎、神戸、愛媛、北九州、北九州ひびき、福岡(以上7ヶ所)
- リサイクルセンター 埼玉、千葉、尼崎
- 営業所 札幌、青森、仙台、新潟、北関東、関東、横浜、甲府、静岡、名古屋、北陸、大阪、神戸、岡山、広島、四国、福岡、北九州、鹿児島、沖縄(以上20ヶ所)

取締役・執行役員および監査役

- | | |
|------------|------|
| 代表取締役会長兼社長 | 寺山満春 |
| 取締役 常務執行役員 | 武内義勝 |
| 取締役 常務執行役員 | 木村俊雄 |
| 取締役 執行役員 | 赤羽昇 |
| 取締役 執行役員 | 東浦知哉 |
| 取締役 執行役員 | 平野眞幸 |
| 取締役 執行役員 | 田辺幸夫 |
| 執行役員 | 櫻井勉 |
| 執行役員 | 権藤邦哲 |
| 執行役員 | 岩木寛昌 |
| 執行役員 | 奥村恵一 |
| 常勤監査役 | 井上正己 |
| ※監査役 | 小林貞五 |
| ※監査役 | 徳嶺和彦 |
| ※監査役 | 有海澈明 |

※会社法第2条第16号に定める社外監査役

- ISO 14001 取得拠点 神戸本社、テクノセンター、仙台、北関東、名古屋、阪神、神戸、四国、福岡
- ISO 9001 取得拠点 テクノセンター、愛媛、福岡
- プライバシーマーク取得
- 収集運搬業許可 47都道府県・60政令市
- 処分業許可 12都道府県・9政令市